

MMメール2資料
アカウント毎設定
「1. 基本」マニュアル

作成：寺岡善隆

編集：花井綾子・井上勝代

作成日：2007年3月

1. 基本

メールの送受信に必要なアカウント毎の基本的な項目を設定します。

これらの設定は、主に契約プロバイダから送られてくるメールアドレスとともに明記されている項目です。

MMメール2を立ち上げ[Alt キー]でメニューを開き、右矢印キーで「ツール」まで行き、下矢印キーで「アカウント毎設定」まで行き[Enter]し「アカウント毎設定」の設定画面を開くと、最初のフォーカスは「基本のタブ」にありますので、[Tab キー]で各項目をたどり「基本」の設定を行なってください。

The screenshot shows the 'Account Settings' dialog box with the 'Basic' tab selected. The dialog has a title bar 'アカウント毎設定' and a tabbed interface with tabs for '基本', '送受信', '署名', '接続/認証', '振り分け', and 'スパム駆除'. The '基本' tab is active and contains the following fields and options:

- アカウント選択(A): (1) ABC (dropdown menu)
- 通常使用(L)
- 個人情報 section:
 - 名前(N): ABC
 - メールアドレス(M): xxx@jcom.home.ne.jp
- サーバー情報 section:
 - POP3サーバー名(受信)(P): pop.jcom.home.ne.jp
 - SMTPサーバー名(送信)(S): smtp.jcom.home.ne.jp
 - ユーザーID(アカウント名)(U): xxx
 - パスワード(P): *****
- 受信したメールはサーバーから削除(D)
 - 1度受信したメールも再読み込みする(S)
- 署名(G): なし (dropdown menu)
- APOPで受信(A)
- メールアカウント通称(T): ABC

At the bottom of the dialog are three buttons: 'OK', 'キャンセル', and 'ヘルプ'.

* アカウント選択:のコンボボックス 1 : ABC

20個までのメールアドレスの個別登録が可能で、その選択を行います。

初期値では(1)MailBox1～(10)MailBox10 となっていますが「メールアドレス通称:」で、わかりやすい名称へ変更することができます。

なお、以下の設定項目は、20個のアカウント別に設定することができます。

* 通常使用のチェックボックス : チェック

20個までのアカウント選択で1つを選択し、チェック[0n]にしておくと、起動時はそのアカウントが選択され、使用されます。

* 名前のエディット : ABC

送信時の送信元[From:～]に付加する名前、略称です。

* メールアドレスのエディット : xxx@jcom.home.ne.jp

送信時の送信元[From:～]となるメールアドレスです。

実際には、[From]:本名<メールアドレス> となります。

* POP3 サーバー名(受信):のエディット : pop.jcom.home.ne.jp

受信サーバー名です。

* SMTP サーバー名(送信):のエディット : smtp.jcom.home.ne.jp

送信サーバー名です。

通常は送信と受信のサーバー名は同じ場合が多いようです。

* ユーザーID(アカウント名)のエディット : XXX

受信用のユーザーID(アカウント名)です。

通常は「POP3 サーバー名:」と合わせてメールアドレスとなります。

[例] xxx@jcom.home.ne.jp

* パスワードのエディット : *****

受信用のパスワードです。

プロバイダとの契約書類を確認して正確に記入してください。

[jcom]を例で書いていますが、プロバイダーごとに、登録法が違いますので、注意してください。

※ヤフーのフリーアドレスの場合の設定の例です。

メールアドレスは例えば、「ABC」xxx@yahoo.co.jpの場合。

1. 名前は、「ABC」
2. メールアドレスは、xxx@yahoo.co.jp
3. POP3 サーバー名は、pop.mail.yahoo.co.jp
4. SMTP サーバー名は、smtp.mail.yahoo.co.jp
5. ユーザーID(アカウント名)は、xxx
6. パスワードは、このアドレスのパスワードを書いてください。

※ヤフーのybbアドレスの場合の設定の例です。

メールアドレスは例えば、「ABC」xxx@jcom.home.ne.jpの場合。

1. 名前は、「ABC」
2. メールアドレスは、xxx@jcom.home.ne.jp
3. POP3 サーバー名は、ybbpop.mail.yahoo.co.jp

4. SMTP サーバー名は、ybbsmtp.mail.yahoo.co.jp
5. ユーザーID(アカウント名)は、xxx
6. パスワードは、このアドレスのパスワードを書いてください

※[nifty] ID の場合の設定の例です。

ID:ABC01234 PASSWORD:*****

1. POP3 サーバー名: pop.nifty.ne.jp
2. SMTP サーバー名: smtp.nifty.ne.jp
3. ユーザーID: ABC01234
4. パスワード: *****

※参考としてダイヤルアップの設定は、IDの前に「NIM-」の4桁を付加します。

ユーザーID: NIM-ABC01234

パスワード: *****

****受信したメールはサーバーから削除のチェックボックス : チェック**

通常はチェック[On]で使用します。

受信処理後はサーバ受信箱から受信メールは削除されます。

チェック[Off]では受信処理してもサーバから削除されません。

チェック[Off]ではサーバー内には受信メールは残されますが、同じメールを読み込むことは、できません。

ですから1度はチェック[On]で受信を行い、サーバー内メールの削除処理が必要となります。

但し、サーバーがメール情報(UIDL)に対応していない場合は、同じメールも読み込むことができます。

- * 1度受信したメールも再読込するのチェックボックス : チェック なし

[受信したメールはサーバーから削除]の[0ff]の場合に有効となります。

チェック[0ff]では1度受信したサーバー内で残されているメールは、再読込しません。

チェック[0n]で何度でも再読み込みすることができます。

- * APOP で受信のチェックボックス : チェック なし

APOP 認証に対応しているプロバイダの場合で使用します。

パスワードを暗号化して送りますので安全性が上がります。

- * 署名のコンボボックス : なし

アカウント別に(署名なし)、または(1から10)の署名を指定することができます。

新規メールや返信メール作成後、送信時に指定の署名を自動付加することができます。

アドレス帳や送信宛先の履歴や検索履歴データは、全アカウントで、共通で使用できます。

振り分け機能はアカウント別の振り分けデータがありアカウント別の指定のメールボックス、

に対して個別に機能します。

- * メールアカウント通称:のエディット : ABC

アカウント選択の名称をわかりやすい名称へ変更することができます。

設定を変更したときには、[Tab キー]で「OK」まで行き[Enter]すると設定画面は閉じ、設定が有効となります。